



MINATO

みなとユネスコ 会報

Bulletin

MINATO UNESCO ASSOCIATION NEWS & CALENDAR

ISSUED BY/MINATO UNESCO ASSN. 16-3,SHIMBASHI 3-CHOME MINATO-KU TOKYO 105-0004/HIROSHI NAGANO PRES.
発行所/港ユネスコ協会 〒105-0004 東京都港区新橋3-16-3 Tel: 03-3434-2300 Fax: 03-3434-2233 発行人/田部揆一郎
Mail:m-info@minatounesco.jp https://minato-unesco.jp

2022年6月1日発行 第168号

目次

P. 1 巻頭言	P. 8 40周年記念誌の編集を終えて
P. 2-4 総会・新任役員紹介	P. 9 盆栽
P. 5-7 MUA 創立40周年記念式典盆栽	P. 10-11 みなと UNESCO サロン
P. 8 退任のご挨拶	P. 12 事務局便り

ご挨拶

港ユネスコ協会 会長 田部 揆一郎



この度、会長就任を仰せつかりました。なにとぞよろしくお願い申し上げます。

ユネスコ憲章の中に「人の心の中に平和の砦を築かなければならない」という文言がございますが、今ほどこの文言の重みを感じる時はないように思います。

本会は創立以来40年にわたり、いろいろなイベントを行ってまいりましたが、そのためにご尽力いただいた方々に心から敬意を表しますとともに、この成果をしっかりと受け止めてさらなる発展を目指したいと思っております。

これらのイベントを通じて、人々は楽しみ、交流が増し、いろいろなことへの理解が深まるのだと思いますが、考えてみますと、このようなイベントを行い、楽しむことができるのは、わが国が平和だからだと思うのです。これまであまり平和のありがたさを感じないで過ごしてきましたが、最近の不穏な世の中の状況をみますと、平和のありがたさを強く感じます。

私どものイベントは、どれも「平和の砦を築く」というような、大げさなものではないかもしれませんが、しかしこれらのイベントを通じて、人々は楽しみを感じ、いろいろな文化に接し、世の中の種々の問題を認識することになり、そして改めて平和の大切さ、ありがたさを感じるようになるのではないのでしょうか。そのような平和の大切さを感じ、平和を貴ぶ人々の輪が広がれば、とても素晴らしいことだと思います。そのために、皆様と力を合わせて、本会の益々の発展を目指したいと思っております。

田部新会長の略歴：

1957 栄光学園（神奈川県）卒、1959 米国 MIT 化学工学科に転入。

1961 同大学卒、三菱油化（現三菱化学）入社；その後、主として企画、海外各社との事業提携に従事。

1970~75 ドイツ駐在

2002 三菱化学定年退職；その後、港区の地域の人達とともに、「みなと第九を歌う会」、「みなと高輪混声合唱団」の代表として、演奏会を実施。現在に至る。

2022年4月総会

日時：2022年4月20日（水） 18時00分～20時00分
場所：港区立生涯学習センター101号室

港ユネスコ協会の2022年4月総会が4月20日（水）午後6時から、港区立生涯学習センター101号室において開催されました。

会員21名の参加のもと奥村和子副会長の司会で開会、永野博会長の開会の挨拶で始まりました。

ご多忙なかご列席いただいた、当協会顧問でもある武井雅昭港区長から、ご自身が40年前の区の職員時代、港ユネスコ協会創立時の担当者として努力されたというお話など、当時の懐かしいエピソードなどをご披露、また2022年度も引き続き国際都市・港区の発展に向け港ユネスコ協会と連携して推進していきたい旨の挨拶をいただきました。

議事内容：

- 第一号議案 2021年度事業報告、新入会員紹介
- 第二号議案 2021年度会議報告
- 第三号議案 2021年度決算報告（案）、事業費内訳
- 第四号議案 監査報告
- 第五号議案 2021年度日ユ協連などへの協力報告
2022年度日ユ協連などへの協力（案）
- 第六号議案 2022年度事業計画（案）
- 第七号議案 2022年度予算（案）
- 第八号議案 2022年度港ユネスコ協会役員（案）



武井雅昭港区長

以上の議案が順次議事に付され、それぞれの議案について全会一致で承認されました。
なお、第八号議案の協会役員人事では、全役員が改選され、任期は2024年4月総会までとなりました。
また、今回の人事で永野博氏が会長を退任し顧問に就任、新たに田部揆一郎氏が会長に就任いたしました。



新役員のご挨拶

新任常任理事 石井義明さん



この度、新たに常任理事に就任させていただきました。
港ユネスコ協会の英会話教室には、約 21 年前から参加しています。

私は、東京消防庁に 37 年間勤務した後に、(公財) 東京防災救急協会に 6 年間勤務し、現在は、生命保険会社顧問をしております。

常任理事という職は重責ではありますが、永野前会長から大変有難いお話をいただきましたので、微力ながら尽力したいと考えております。どうぞ宜しくお願いします。

新任常任理事 古市容子さん

このたび港ユネスコ協会常任理事を務めさせていただくことになりました。

ユネスコの精神に基づいた高い理念の具現化のために、そして会員数を増やし、将来にわたり安定した活動ができるよう、微力ではございますがお役に立ちたいと思っております。

どうぞよろしく願いいたします。



新任理事 渋谷恵さん (明治学院大学教授)



今年度より、理事として務めさせていただくこととなりました渋谷恵です。

伝統ある港ユネスコ協会に関わらせていただけることを大変光栄に感じております。

私は明治学院大学心理学部教育発達学科において、多文化教育や比較教育学に関する授業を担当しています。日本語スピーチコンテストをはじめとする様々な企画に学生とともに参加させていただき、地域における国際交流・国際理解の重要性を改めて感じました。いろいろ学ばせていただきながら、私にできる務めをさせていただきたく思います。

ご指導のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

(事務局 新福彰二)

2022年度 港ユネスコ協会役員

(五十音順)

[役職]	[氏名]	[職名]
会 長	田部 揆一郎	元三菱油化（現三菱化学）取締役
副会長	磯部 豊子	
〃	今村 孝子	ラテンアメリカ国際交流協会会員
〃	小林 敬幸	
〃	峰尾 茂克	株式会社 THE FPコンサルティング代表取締役
		産業能率大学 客員教授
〃	森村 俊介	森村商事株式会社 相談役
常任理事	秋山 雅代	
〃	石井 義明	
〃	奥村 和子	
〃	笠原 正子	茶道教室裏千家主管
〃	佐藤 律子	
〃	田川 純子	日本語教師
〃	古市 容子	
〃	松崎 加寿子	医師
〃	宮下 ゆかり	
理 事	佐々木 剛	東京海洋大学教授（水圏環境教育学研究室）
〃	渋谷 恵	明治学院大学教授
〃	鈴木 明美	
〃	坪谷ニューエル郁子	東京インターナショナルスクール理事長
〃	東郷 和彦	京都産業大学教授・世界問題研究所長、元オランダ駐節特命全権大使
〃	友金 守	元港区社会教育指導員
〃	永井 美智子	樫山奨学財団評議員
〃	長門 芳子	いっくら国際文化交流会会長、宇都宮大学3C基金発起人
〃	中前 由紀	港区議会議員
〃	平方 一代	元横浜市住宅政策審議会委員
〃	三輪 恵美子	
〃	山田 攝子	弁護士
監 事	棚橋 征一	日野・レッドランズ姉妹都市協会副会長
〃	中川 統夫	公益社団法人 東京青年会議所特別会員
名誉会長	三輪 公忠	上智大学名誉教授
顧 問	明石 康	公益財団法人 国際文化会館名誉顧問
〃	伊藤 公平	慶應義塾長
〃	高井 光子	元港ユネスコ協会会長
〃	武井 雅昭	港区長
〃	永野 博	前港ユネスコ協会会長、東京都ユネスコ連絡協議会副会長
〃	見上 陽一郎	学校法人 東京芸術学園音響芸術専門学校理事長
相談役	菊地 賢介	前港ユネスコ協会副会長、ヒューズ合同会社社長
〃	木曾 功	千葉科学大学学長、元ユネスコ日本政府代表部特命全権大使

すべての役員・役職の任期は2024年4月総会まで。

港ユネスコ協会創立40周年記念行事

日時：2022年4月20日（水） 18時45分～19時15分
場所：港区立生涯学習センター101号室

港ユネスコ協会は2021年10月に創立40周年を迎えました。これを記念して4月20日（水）午後6時45分から、創立40周年記念行事が港区立生涯学習センター101号室において開催されました。

会員26名の参加のもと奥村和子副会長の司会で開会、永野博会長の開会の挨拶で始まり、ご多忙な中ご列席いただいた浦田幹男港区教育委員会教育長からは、「港ユネスコ協会は港区の国際交流、相互理解、国際親善に大きく貢献いただいている。」として、お礼のお言葉をいただくなどご挨拶いただきました。



浦田幹男 港区教育委員会教育長

永野会長挨拶

港ユネスコ協会は昭和56年(1981年)10月に白金プリンス迎賓館で設立総会を開きましたので、この度、満40歳を迎えることになりました。これまでの発展は初代丹下健三会長、第2代の三輪公忠会長、第3代の高井光子会長をはじめとする会員の方々の努力の賜物であり、すべての関係者の方々に感謝申し上げます。港ユネスコ協会の設立、運営にあたりましては当初より港区のご支援をいただいていたのですが、本日は港区教育委員会浦田幹男教育長をご来賓にお迎えし、大変嬉しく存じております。

ユネスコ精神の源流は1920年代に国際連盟で活躍された新渡戸稲造事務次長などの発案によると言われていますが、新渡戸博士の愛弟子であった松本重治先生が港ユネスコ協会発足時の主要メンバーであったことからわかるように、当協会設立の理念はユネスコ精神の源流にさかのぼることができます。我が国における民間ユネスコ運動は1947年に設立された仙台ユネスコ協力会から始まりましたが、その設立に寄与された上田康一さん(当時：外務省東北戦後連絡事務局連絡官)は港ユネスコ協会の常任理事として創立5周年記念特別号に「初心忘るなかれ」と題して寄稿され、「平和活動」と「親善活動」を活動の二本柱として提示されています。

平和はユネスコ憲章に掲げられている理念ですが、複雑な現代社会におきましては、気候変動、地球環境、生物多様性、人権、ジェンダー、エネルギー需給、私たちの生活・働き方すべてが世界の平和とかがかかわっています。現在、港ユネスコ協会では、異文化交流・理解、国際機関としてのユネスコの行う活動を市民へ伝えること、若い世代との交流を活動の3本柱としています。ロシアのウクライナ侵攻をみますと、民間ユネスコ運動の価値はこれまでとは次元の異なる意味でその重要性を高めています。これからの10年、20年に向けて港ユネスコ協会の更なる発展を祈念したいと思います。

永年会員感謝状贈呈

港ユネスコ協会これまで活躍して来られた永年会員（在籍30年以上、前回30年表彰者を除く）への感謝状の贈呈が行われました。

感謝状が贈呈されたのは、今村孝子様、宇都宮和美様、兼田徳子様、友金守様、永井美智子様、中川統夫様、平方一代様、峰尾茂克様、宮下ゆかり様、三輪恵美子様、山田攝子様、渡部俊子様（50音順）と法人会員の日本電気労働組合様です。



今村孝子様



宇都宮和美様



中川統夫様



平方一代様



峰尾茂克様



宮下ゆかり様



渡部俊子様

今回ご出席いただけなかった方々へは、後日感謝状をお送りいたしました。

40周年記念誌の紹介

40周年記念誌の編集担当副会長である宮下ゆかり氏より「40周年記念誌」の紹介がありました。また、今回の記念誌編纂にあたり、全体の編集に取り組んでいただいた棚橋征一様より、その苦労話など(8ページの「MUA創立40周年記念誌の編集実務を終えて」)についてお話いただきました。



記念誌表紙



会場にお越しいただいた会員各位に記念誌が手渡されました。なお、後日、今回出席いただけていない会員全員、寄稿いただいた方など関係各位に記念誌をお送りしています。

40周年記念誌発刊 感謝状の贈呈

40周年記念誌発刊にあたり、編集全般を担っていただいた棚橋征一様、デザイン・レイアウトを担っていただいた米田嘉明様に感謝状の贈呈がありました。

以上

(事務局 新福彰二)

退任のご挨拶

MUA前会長 永野 博



高井光子前会長の後を継ぎ 2016 年に会長をお引き受けしましたが、あっという間に 6 年間の任期がたつてしまいました。私はもともとユネスコ運動の経験がありません。科学技術庁が文部省と統合したため、予期していなかった仕事の一つがユネスコでした。そこで民間ユネスコ運動の大切さを知り、日本ユネスコ協会連盟の活動を支援した関係から、高井会長のお誘いで港ユネスコ協会に入りました。地域ユネスコ協会の活動に何か支援できればと考えただけだったのですが、大役をお引き受けすることになってしまいました。6 年間の活動を支えていただいた副会長をはじめとする役員、会員の皆さん、また現在の事務局の方々、また港区教育委員会には心よりお礼を申し上げます。

港ユネスコ協会の強さは何といっても活動意欲のある会員の存在です。数々のチラシから明らかなように、全くのボランティア活動でありながら、これだけ多様な催しを実行できる活力は他にあまり類を見ません。弱点は若い人が少ないことでしょう。しかし、近年は東京海洋大学との連携も進み、活気のある活動を行えるようになり、発展の可能性を感じさせられます。

ユネスコの掲げる平和の理念を実現するためには、いみじくもユネスコ憲章が指摘するように、いつ反故にされるかわからない政府間の取り決めによる平和の約束よりも、人々の間の相互理解による連帯こそが代替不可能な基盤として不可欠です。平和の追求は、地球環境、食糧、エネルギー、都市、宗教、経済格差などの諸問題とも絡み合う複雑なテーマですし、ロシアによるウクライナ侵攻は、これが理念だけのことではなく、現実の問題であることを問いかけています。全国に点在する地域ユネスコ協会が、その存在意義を発揮できる、発揮しなければいけない時代が再びきたといってもよいと思います。

田部揆一郎新会長は、まだ日本人の学生が少ないころに米国の著名大学を卒業され、その後も国際的に活躍されてこられました。これからの時代を市民として何をどう考えていくかという時に求められる価値観を共有されているばかりでなく、草の根運動にも積極的にかかわられてこられた方ですので、新会長のもと、港ユネスコ協会の活動の更なる発展を心より願ってやみません。

MUA 創立 40 周年記念誌の編集実務を終えて

監事（広報・インターネット委員会） 棚橋 征一

当協会ではこれまでに創立から 15 周年、20 周年、25 周年、30 周年の節目に記念誌を刊行しており、ご覧になったかたも多いと思います。私はこのうち、三輪名誉会長の巻頭言を中核に編集された 20 & 25 周年誌、および高井元会長が中心となって編集された 30 周年誌の制作に参画してきたこともあり、編集実務を担当させて頂いた気がしています。

40 周年の記念誌については、昨春、編集委員会を立ち上げて会議を重ね、皆さんのご意見を聴取しながら構成やコンテンツを固めていきました。年明けにはほぼ輪郭が整ってきたので、これを順次、デザイナーの米田さんに電送して、ビジュアルに魅力のある冊子となるよう、プロの腕前を発揮して頂きました。無料ソフトを使って何度も東見本データをやりとりしましたが、少しでも解像度のよい写真を求めたり、気づかないところで種々、工夫を凝らして下さるなど、プロの仕事振りに感心しました。宮下副会長、新福事務局長には終始ご支援を頂き、永野会長にも最後の校正段階で「ヒヤリハット」の誤りを見つけて頂くなど、多大なご尽力をいただきました。皆さんのご協力により何とか無事に記念誌が完成し、心から感謝いたしております。



文化体験教室委員会

日本の伝統文化「盆栽」実演と体験

講師 川上佳樹（有限会社 清香園講師）

月日：2022年3月6日（日）

会場：港区立生涯学習センター305号室

参加者 35名 その他6名（講師、アシスタント、委員） 合計41名

- 内容
- ・盆栽の歴史・文化の説明
 - ・講師によるデモンストレーション
 - ・各自盆栽作り実習（桜の小品盆栽）

参加者からの声

- とても楽しい時間を過ごす事ができました。
- 桜が咲くのが楽しみです。
- 先生の教え方が上手で、わかりやすかった。
- 散歩の時、道路沿いの日陰に育った苔を見つけるのが楽しみです。

ひとこと

毎回人気のある盆栽教室で、今回も70名を超える応募がありました。そのため会員枠を除き、抽選で参加者を決めました。江戸末期に台東区根岸で創業した由緒ある清香園さんのご協力のもと、充実した内容で開催できました。この場をお借りして感謝申し上げます。

盆栽教室は大変人気があり、抽選に漏れて参加できない方もいらっしゃいました。2022年度事業でも、年末に「松」、3月に「桜」の盆栽教室を開催いたします。



（文化体験教室委員会 平方一代）

世界を見よう！みなと UNESCO サロン for SDGs

“麗しの都 ROMA たより”

講師：樽見秀爾氏 【1974年三越入社、日本橋本店・シンガポール三越を経てローマ三越勤務。その後本店及び関連会社での要職を経て2011年(株)三越伊勢丹を定年退社。再度ローマ三越勤務。帰国後、大型客船「飛鳥II」を運航する郵船クルーズ(株)にてお客様ご相談窓口を担当。】

日時：2022年3月9日(金)午後2時～

会場：港区立生涯学習センター3階 305室



永野博会長の挨拶で開会し、ロシアのウクライナ侵攻で被害を受けられた方々の気持ちに寄添い黙祷、併せて募金のご案内をしました。

滞在10年間の振り返り ① 1992年4月～1998年2月 ② 2011年7月～2016年1月

ミモザの花 3/8は国連で定めた「国際婦人デー」。イタリアでは3/8には男性から女性に感謝を込めてミモザの小枝を贈ります。1992年～ローマ三越赴任時は湾岸戦争後の不安な空気が残る中、日本からの団体旅行客が少ない日々が続きましたが、94年頃から「イタリアブーム」の風が吹き、加えて95年からの「円高」により大勢のお客様にお買物を楽しんで頂くことができました。

定年を迎えて新たな人生目標 長年の三越での経験から「おもてなし」が我がテーマとの思いで二度目のローマ赴任を志願。「踏まれても 又踏まれても 立ち上がる 岩をも砕く 熱き意志もて」の気持ちを抱いて、ローマ三越のショップの責任者として再赴任しました。2011年～2013年頃から中国・台湾・韓国からのお客様が増えてきたことで日本語とイタリア語に加えて五カ国語の「挨拶・案内」を毎朝礼で練習。中国語の先生を迎えての勉強と実践は、スタッフの仲間意識がより密となり「おもてなしの心」が一つになりました。

ローマを歩く [ROMAの麗雅都だより:2016\(genyou-roma.blogspot.com\)](http://ROMAの麗雅都だより:2016(genyou-roma.blogspot.com))



四大聖堂 ★サン・ピエトロ寺院カトリック巡礼の総本山として聖ペトロの墓所に建立。コンスタンティヌス帝により大聖堂が完成。★サンジョバンニ・インラテラーノ大聖堂★サンタ・マリア・マッジョーレ大聖堂 教皇シクストゥス五世(16世紀、今日の大聖堂巡礼の都市計画を行った)のお墓。★サン・パオロ・フオリ・レ・ムーラ大聖堂

七つの丘 ★カンピドリオの丘：ローマはここから始まった！！★パラティーノの丘：狼に育てられたロムルス・レムス伝説の丘★アベンティーノの丘：街を美しく一望できます。マルタ騎士団広場「扉の鍵穴」からサン・ピエトロのドームが見えます。★チェリオの丘★クイリナーレの丘：大統領宮殿★エスクイリーノの丘★ヴィミナーレの丘：「ローマ歌劇場」

噴水(泉) ★トレビの泉：泉を背にしてタスキ掛けにコインを投げてお願いをする！当時で年間「1億5千万円」も集まり社会福祉協会に寄付されるそうです。★亀の噴水：ルネッサンス彫刻の名作★(ティボリ) ヴィラ・デステの噴水群：リスト作曲「ヴィラ・デステの噴水」でも有名。★トリトーネの噴水★ナイアディの噴水：共和国広場★四大河の泉：ナボナ広場 ★バルカッチャ(ぼろ船)の泉：スペイン広場等々。

噴水(泉)の歴史について 「古代ローマ時代から近郊の水脈源より市内へ水を引いて(市民・家畜の)飲料水として噴水は重要な役割を果たしてきた。又、16～17世紀には教皇らによる都市造りの一環として、彫刻家・建築家達が競って芸術性溢れる噴水を設置するようになった。夏のローマの暑さは格別で巡礼者の疲労困憊の体に「噴水」はオアシスとなったと思います。」(アンケートの質問への回答)

映画『ローマの休日』のシーンを歩く ★アン王女滞在の宮殿は「バルベリーニ宮殿」で今日の国立絵画館 ★あまりのスケジュールの窮屈さに嫌気をさして街中へ脱出した第一歩は、「共和国広場」だった。★ベンチで横になり寝入ってしまう「フォロロマーノ」★トレビの泉の近くの美容院へ★スペイン階段でジェラートを食べる★ベネチア広場周辺でスクーターに乗る★真実の口★テベレ川★コ

ロンナ宮殿で王女の記者会見。ラストシーン「この地を訪れたことを思い出として一生大切にします。」の王女の言葉は心にしみませぬ。

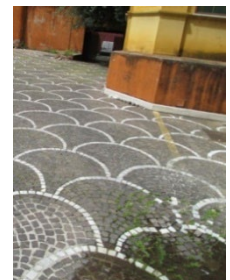
ストリート・パフォーマンス 街中での思わぬ出会い。スーパーマン?テルミニ駅に現る

シチリア出身の『クラーク・ケント』(?)とのやりとり。「写真いいですか?」「小銭を!!」今でも優しい笑顔は忘れられません!!路上のヘッディングおじさん路上でデモンストレーション。ニコライさんは信号待ちの通行人やドライバーにヘッディングを披露して心付けを期待しています。お札でなく「小銭」の用意がいいです。

「ローマ歌劇場」 オペラ・バレエ。マイシートで憧れのリッカルド・ムーティ首席指揮者によるヴェルディ作品には特に感動。休憩時に「書き込みのある譜面」「指揮棒」をそっと覗き見る至福の時を持つことができました。

「市立展示館」 催物センター、1882年にローマ市が建設。日本の美を紹介しようと1930年(昭和5年)ムッソリーニ時代に「日本美術展覧会(横山大観・川合玉堂・竹内栖鳳ら80名が参加)」が、「市立展示館」で大倉喜七郎の全面後援で開催されました。2020年9月に大倉集古館にて「1930年ローマ展開催90年」を觀賞し、改めて日伊の繋がりやの深さを感じました。

「青海波」デザイン 「石畳等の路面」やエトルスキー文明時代の「器」に目にすることの多い青海波。現地では「孔雀の尾羽根」と呼ばれ、ペルシャからシルクロードで日本に伝わったとの説がありますが、古代ローマの歴史以前のエトルスキー文明から発生しているのでは、と樽見説を抱いた次第です。日本で馴染みの青海波で夢を膨らませてみました。



「マーキュリー像」を探して歩く 日本橋三越のライオン像を少し上に目を移すとマーキュリー像が見えます。商業の神、伝達の神、技能の神等々崇められている神様。ローマのヴィラ・メディチの庭園、フィレンツェの国立バルジェッロ美術館にてマーキュリー像に対面しました。



「東北大震災 チャリティコンサート」をポポロ教会で開催

2012年3月11日に追悼・応援コンサートを企画。運営資金として130万円ほどの基金を集め「モーツアルトのレクイエム」を歌いました。会場狭しと700人を越えるお客様が来場。駐伊日本大使、ローマ日本文化会館長他多くの名士に参加いただきました。会場で30万円の浄財が集まり、DVD・CDを添え福島市、石巻市、仙台市に寄贈させて頂きました。

「吾伊句・短歌集」 句に、短歌に思いをのせました。

★「ヴィアコルソ ゲーテの願い 今光る」ゲーテ記念館のあるコルソ通り、クリスマスシーズンには「光フェスタ」が開催されます。★「古の麗雅都見ゆる 丘に立ち 聖年に我れ いざ帰らんや」いよいよ日本に帰るという時(2016年)に「聖年」を体験。聖年とは、西暦1300年に始まったカトリックの行事。この年にローマに巡礼すると天国へ行ける・・・特別な赦しを与えられるとされます。



「イタリア語ことば遊び」 ● utensileria ウテンシレリア(雨天知れりあ):家庭用品道具屋 ● miscellanea ミシエラネア(見しえらねあ):作品集、混合 ● deterativo デテルシーヴォ(出てる脂肪):洗剤 ● comune コムーネ(役所はいつも混むーね):市役所、町役場 ● tanto タント(タントお食べなさい):沢山、多く、等 200もの単語集から一部をご紹介します。元気の出るイタリア語講座!!

ROMA AMOR ローマはアモーレ「愛」がいっぱい

どちらから読んでも「ローマはアモーレ」!!

ローマ三越は2021年7月に閉店になりましたが、一緒に働いた仲間への御礼を込めての「麗しの都」讚美の二時間でした。アフターコロナにはぜひお訪ねください!と結んで頂き、ローマへの愛情あふれたお話しに盛大な拍手が送られました。

ウクライナの方々への避難民支援募金として17,750円を受付け、日本ユネスコ協会連盟に寄付致しましたことを補記いたします。

(会員開発委員会担当 常任理事 小林敬幸)

事務局便り

【ようこそ新入会員】

個人会員：梅根敬一郎 様、島幸代 様（以上、みなと UNESCO サロン参加者）、遠矢琉璃子 様、下本地真希 様（以上、英語講座申込者）、金城恒夫 様、松村雅子 様（以上、会員紹介）

【開催中の事業】

☆日本語講座 田川純子先生 4/9 スタート（土曜日・10：00～11：30） 10回
☆ビジネス英会話講座 金森尚人先生 4/7 スタート（木曜日・18：30～20：00） 9回
開催場所：いずれも港区立生涯学習センター3階 港ユネスコ協会事務局内

【今後の事業予定】

☆6月2日（木）16:30～20:30 みなと UNESCO サロン「世界経済の動向とくらしへの影響&対応策」
会場：港区立生涯学習センター305号室
講師：福本芳朗氏（元TBSテレビ記者、ファイナンシャルプランナー）

☆6月4日（土）13:30～16:00「ゆかた着付け体験教室」
会場：港区立生涯学習センター203号室
講師：高橋優子氏（ハクビ京都きもの学院銀座校 院長兼校長）

☆6月19日（日）14:00～16:00 第1回国際理解講演会「はやぶさの旅路と教訓」
会場：港区六本木 国際文化会館 講堂
講師：的川泰宣氏（宇宙航空研究開発機構（JAXA）名誉教授）

☆7月4日（月）初級英会話講座スタート（月曜日13：30～15：00）全9回/期
会場：港区立生涯学習センター3階 港ユネスコ協会事務局
講師：中沢萬佐雄氏

☆7月20日（水）14:00～16:00 みなと UNESCO サロン「江戸城と東京の近代建築にみる『石文化』」
会場：港区立生涯学習センター305号室
講師：加藤雅喜氏（湯河原町史編纂委員、元土肥実平顕彰「土肥会」理事など）

☆9月24日（土）13:30～16:00「茶の湯体験教室」
会場：港区立生涯学習センター203号室

☆10月1日（土）13:30～16:00「書道体験教室」
会場：港区立生涯学習センター304号室

☆10月8日（土）13:30～15:00「オリジナルペンでポストカードを作ろう!!!」
会場：港区立生涯学習センター304号室
講師：鈴木美樹子氏、園田美公氏（株式会社オカモトヤ）

☆10月29日（土）14:00～16:00 第2回国際理解講演会「イタリアオペラの風を感じて」
会場：港区芝浦 リーブラホール
講師：渡辺大氏（オペラ・テノール歌手、日本声楽家協会教育センター講師、啓声会運営委員）

☆12月11日（日）13:30～16:00「第六回日本語スピーチコンテスト」
会場：港区芝浦 リーブラホール

【40周年記念誌へのご寄付、ありがとうございました】

★中川統夫氏、永野博氏（以上5万円）、高井光子氏、田部揆一朗氏、（以上3万円）、渡辺貴美子氏（2万円）、笠原正子氏、FPコンサルティング社、今村孝子氏、山本俊介氏、松崎加寿子氏（以上1万円）、佐藤律子氏、磯部豊子氏、宇都宮和美氏、米田嘉明氏、田川純子氏、山田攝子氏、東郷和彦氏、古市容子氏、棚橋征一氏、奥村和子氏、平方一代氏、宮下ゆかり氏、渡部俊子氏、鈴木明美氏、小林敬幸氏（以上5千円）の寄付を頂戴しました。

港ユネスコ協会事務局 火曜日～金曜日（祝日を除く）午前10時～午後5時

〒105-0004 東京都港区新橋3-16-3 TEL：03(3434)2300 TEL・FAX：03(3434)2233

Eメール：m-info@minatounesco.jp ウェブサイト：<https://minato-unesco.jp>

